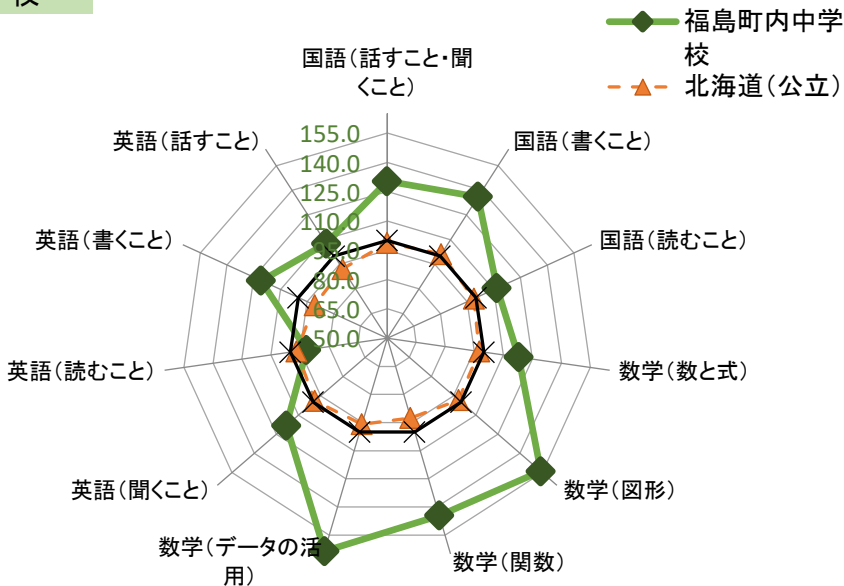


○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

中学校

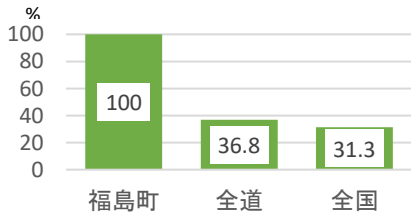


【平均正答率・平均IRTスコア】

	中学校		
	国語	数学	英語
福島町	74.2	80.5	530
北海道(公立)	63.3	55.0	490
全国(公立)	63.9	57.0	499

【学校質問】

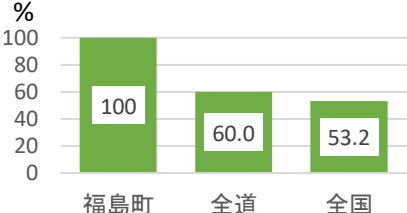
前年度までに、学習指導において、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか



「よく行った」

【学校質問】

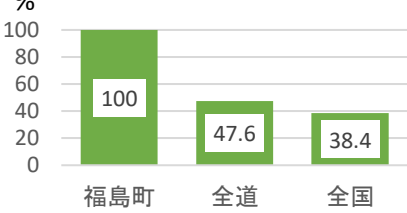
生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか



「毎日持ち帰って、(毎日、時々)利用させている」

【学校質問】

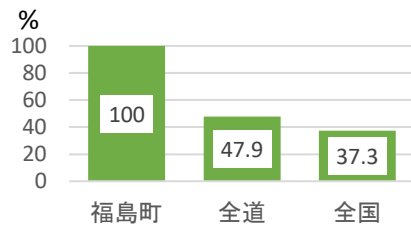
前年度までに、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるような指導を行いましたか



「よく行った」

【学校質問】

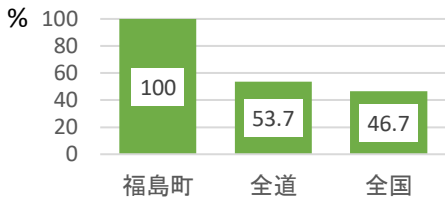
前年度までに、国語の授業で、生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか



「よく行った」

【学校質問】

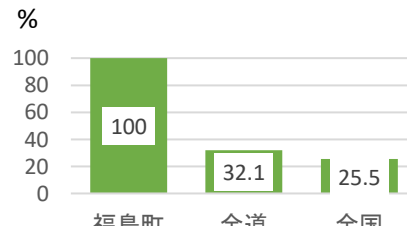
数学の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、根拠を明確にして生徒に道筋を立てて説明させるような授業を行いましたか



「よく行った」

【学校質問】

英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べあったりする活動を行いましたか



「よく行った」

○ 調査結果からの分析及び課題

【国語】

学習指導において、生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを一人一人に講じるよう取り組んできたことや家庭学習の充実を図ったことにより「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域で全国及び全道の平均正答率を上回った。

「読むこと」領域の解答状況により、言葉の意味を理解しながら読むことや読み取る目的を明確にするなど、読み取る内容の理解に思い込みや偏りがでないようにすることなどが今後の課題の一つである。

【数学】

学習指導において、問題の答えを求めさせるだけでなく、その答えに至った理由を筋道を立てて説明する学習に取り組んだことや家庭学習の充実を図ったことにより、「データの活用」「図形」「関数」の領域で全国及び全道の平均正答率を上回った。

各領域において全国及び全道の平均正答率を上回っているが、「数と式」領域の解答状況から、問題文を読み取る段階で、何を求められているのかの理解が十分ではないと考えられることから、改めて、課題を正しく把握するための取組の充実が、今後の学習課題の一つである。

【英語】

学習指導において、聞いたり、読んだりしたことについて、生徒同士で互いに尊重しながら交流する機会や家庭学習の充実を図ったことにより、「聞くこと」や「書くこと」の領域において、全国及び全道の平均正答率を上回った。

「読むこと」「話すこと」領域の解答状況により、必要な情報を読み取り、概要を把握することや自分の立場や日常生活に結び付けて理解し試すなどの取組の充実が今後の課題の一つである。

○ 今後の取組方策について

- ・全ての教科等において、深い学びを実現するために、理由や根拠を示させるなどの取組の充実を図るとともに、学校全体で対話を重視した学習に取り組む。
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実のために、ICTの効果的な活用に取り組むとともに、生徒自らの意志で学びに向かうことができるよう、様々な活動場面で生徒が意思決定をし、前向きに取り組む機会の充実を図る。